

高速アナログ 8CH 920MHz 無線リモート IO

ADX4-A08-920 クイックスタート ガイド

Update 2024-7-8

SAVA Inc.

1.基本動作

ADX4-A08-920RT（親機子機のセット）において、親機と子機 1 台を動作させ、付属ソフトで Windows 上でログを取る。

予め、以下の設定がなされて出荷されます。この設定を変えずに、運用する方法を解説します。

親機のノード ID=1

子機のノード ID=2

親機および子機の動作モード=中距離

親機および子機のチャンネル=31

子機背面に付属の AC アダプターを接続してください。

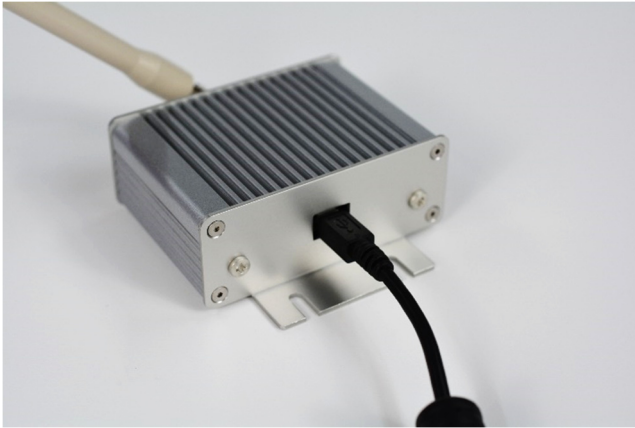
AC アダプターを 100V-AC の電源に接続してください。



子機の電源スイッチを押し下げて ON にしてください。(MODE スイッチは 2 つとも上)
緑色のランプが点灯します。時折、黄色のランプが点滅します。



親機の USB ポートと、PC の USB ポートを、付属の USB ケーブルで接続してください。



付属 USB メモリの USB¥ML64 を PC で運用するフォルダにコピーし、この中の AdxfConf.exe を実行します。PC のデバイスマネージャーを開き、親機の COM ポートを確認し、この値を、以下の COM NUMBER の箇所に設定します。

The screenshot shows two windows. On the left is the Windows Device Manager window titled 'デバイス マネージャー'. The 'Ports (COM & LPT)' category is expanded, and 'Silicon Labs CP210x USB to UART Bridge (COM11)' is highlighted with a red box. An arrow points from this box to the 'SERIAL PORT (UART)' field in the Configurator window. The Configurator window is titled 'Configurator ADX4-08-920'. It has an 'EXIT' button in the top right. The 'SERIAL PORT (UART)' field is set to '11' and is also highlighted with a red box. Below this are sections for 'SIGNAL CONDITION' and 'ALARM' with tables for channel settings.

SIGNAL CONDITION		
UPPER(65535)	LOWER(0)	
10000	0	CH0
10000	0	CH1
10000	0	CH2
10000	0	CH3
10000	0	CH4
10000	0	CH5
10000	0	CH6
10000	0	CH7

ALARM		
UPPER	LOWER	
6000	0	CH0
0	0	CH1
0	0	CH2
0	0	CH3
0	0	CH4
0	0	CH5
0	0	CH6
0	0	CH7

AdxHost.exe を実行します。自動的に、データ収集を開始します。

	CH=0	CH=1	CH=2	CH=3	CH=4	CH=5	CH=6	CH=7	RSSI(%)/Counter
NODEID=02	[5003.74] [5005.87]	[4.58] [5.80]	[0.00] [1.22]	[3.36] [4.58]	[1.83] [3.05]	[3.05] [4.58]	[4.88] [6.71]	[4.88] [16.78]	[88.63] [5705]
NODEID=03	[167.85] [462.35]	[7056.53] [5880.06]	[4703.59] [3527.12]	[2350.65] [1174.18]	[630.05] [1963.38]	[3296.71] [4630.05]	[5963.38] [7296.71]	[669.26] [2002.59]	[89.41] [5705]
NODEID=04									
NODEID=05									
NODEID=06									
NODEID=07									
NODEID=08									
NODEID=09									
NODEID=10									
NODEID=11									
NODEID=12									
NODEID=13									

success [COM11] F:\Z_DATA\FJDAX4\CMS\windows\test2024_0523\LogFile\2024_06_09\ID02_15_16_14.csv SAVA Inc.
FTP-successful(4) Server : Login : DIR : CH() GTC=11410 RUN(/) ADX4-08-920

“AdxHost.exe のあるフォルダ¥LogFile¥yyyy_mm_dd”に、“IDcc_hh_MM_ss.csv”という名称の計測ファイルが生成されます。yyyy は西暦、mm は月、dd は日、cc は子機の NODEID 番号、hh は時、MM は分、ss は秒です。日時はファイル生成の瞬間を示します。

終了するには、ソフトウェアの EXIT ボタンで、ソフトウェアを終了させ、その後、子機の電源を切る→親機の USB を抜きます。これらの終了手順は、特に順不同でも問題はありません。

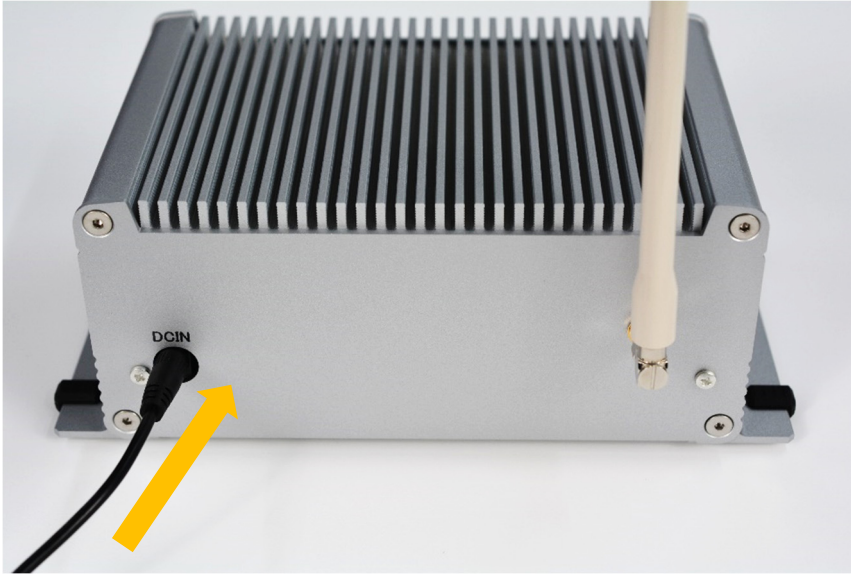
2.子機 2 台目の追加

(現状 親機ノード ID=1、子機 1 台目ノード ID=2)

子機 1 台目は電源 OFF にしておきます。

子機 2 台目の背面に付属の AC アダプターを接続してください。

AC アダプターを 100V-AC の電源に接続してください。



子機 2 台目前面の USB ポートと PC を接続してください。

子機 2 台目前面の DIP スイッチを押し下げてください。

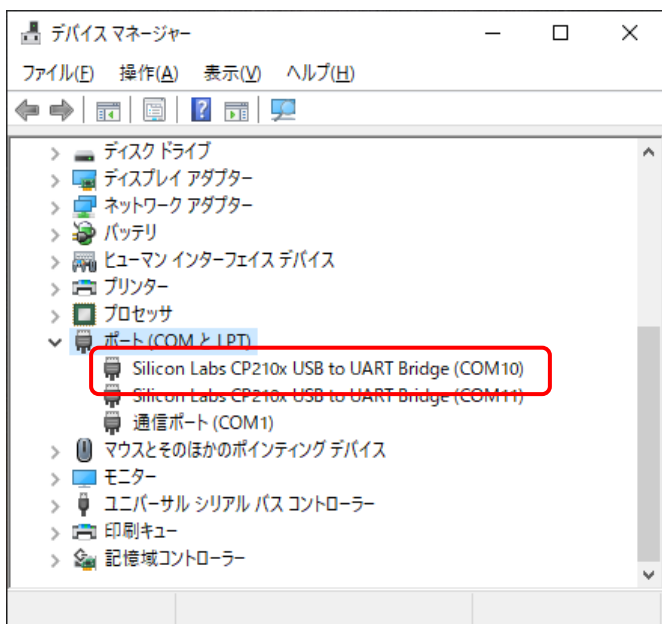
子機 2 台目の電源スイッチを押し下げて ON にしてください。

緑色と赤色のランプが点灯します。

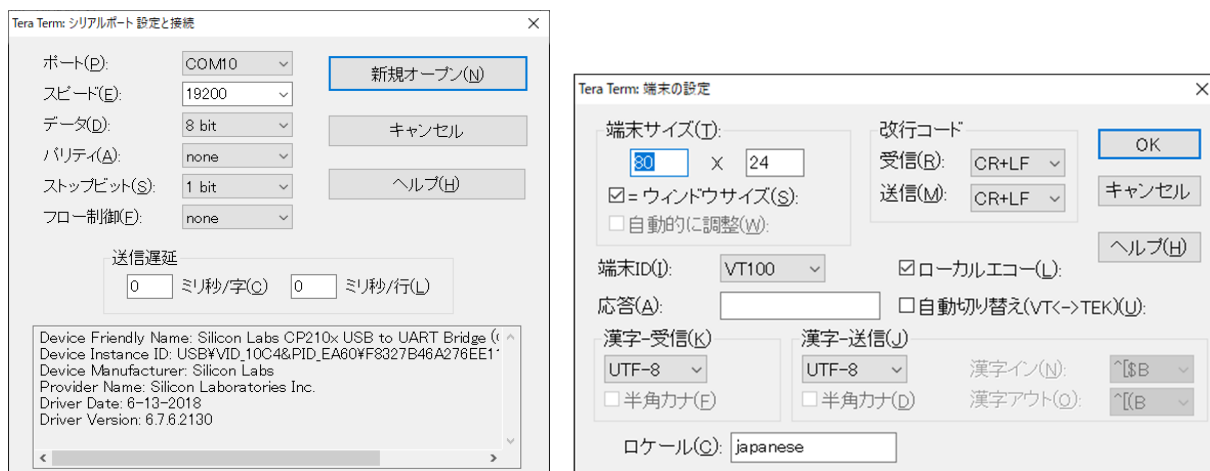
時折、黄色のランプが点滅します。



PC のデバイスマネージャーを開き、子機の COM ポートを確認してください。
COM11 は前述の親機なので、子機 2 台目は COM10 という事になります。

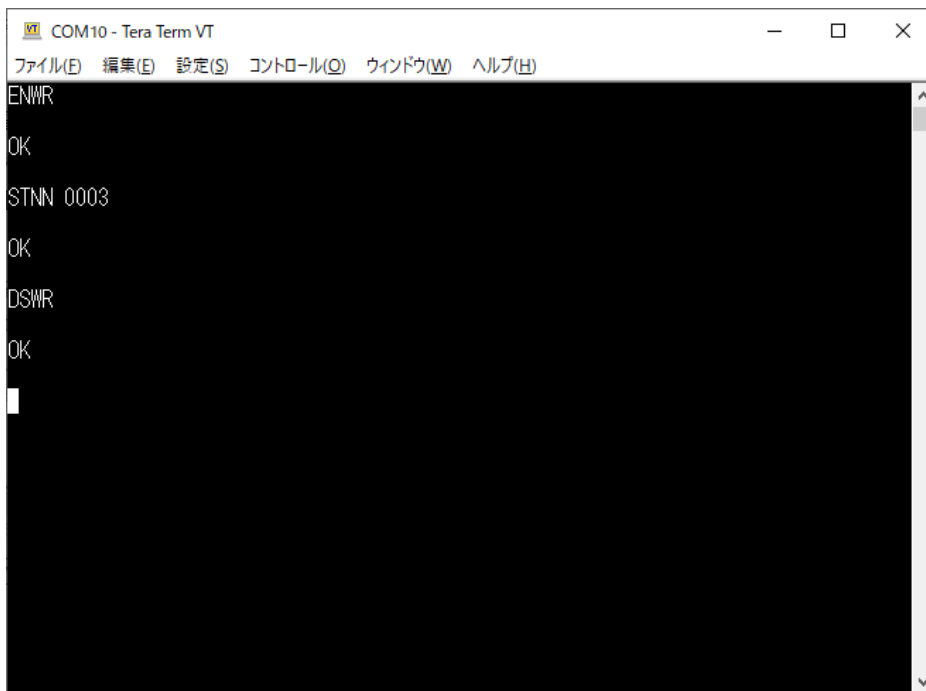


既存のターミナルソフトを使い (TeraTerm など)、調査した COM 番号 COM10、19200bps、8bit、パリティなし、ストップビット 1、フロー制御なし、改行コード送受信ともに CR+LF、ローカルエコーありで接続します。TeraTerm だと以下の通りです。

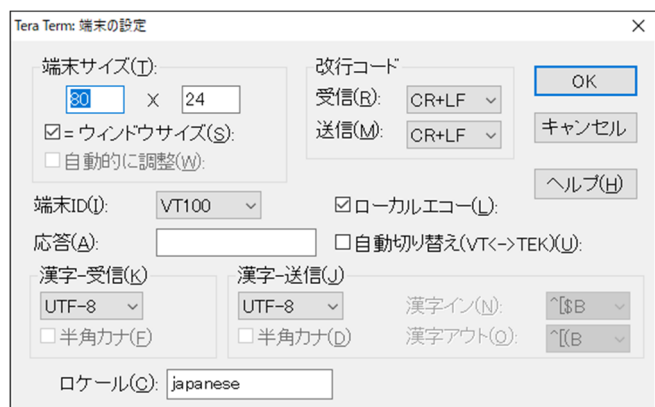


半角英数字で以下のコマンドを入力して、子機 2 台目のノード ID を 3 に設定します。(レスポンスは子機 2 台目から返される文字列です)

コマンド入力 (パラメータ書き換え許可)	ENWR
レスポンス	OK
コマンド入力 (ノード ID=2 の場合)	STNN 0003
レスポンス	OK
コマンド入力 (パラメータ書き換え禁止)	DSWR
レスポンス	OK

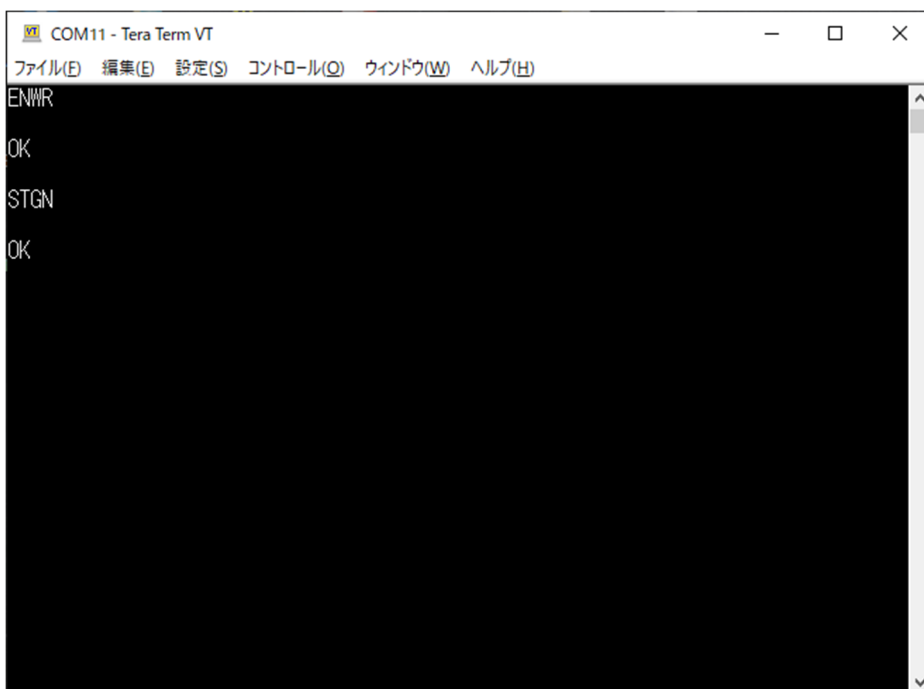


子機の USB 接続はそのまま維持した状態で、親機も PC に USB 接続し、親機の COM 番号 = COM11 (デバイスマネージャで調べた値)、460800bps、8bit、パリティなし、ストップビット 1、フロー制御なし、改行コード送受信ともに CR+LF、ローカルエコーありで接続します。TeraTerm だと以下の通りです。



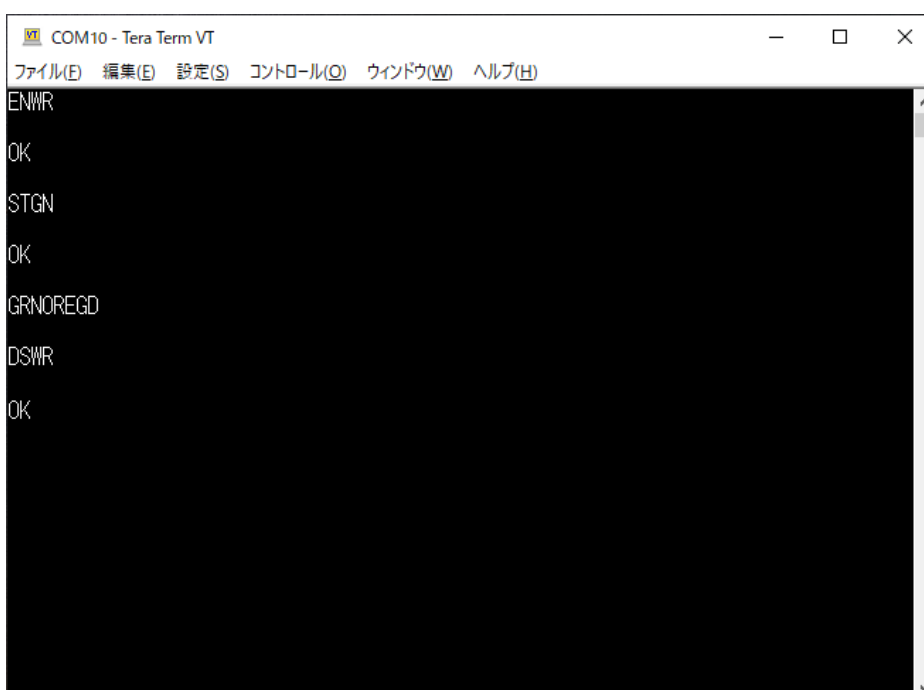
親機 (COM11) のターミナルソフトで以下のコマンドを打ちます。

コマンド入力 (パラメータ書き換え許可)	ENWR
レスポンス	OK
コマンド入力 (グループ受付)	STGN
レスポンス	OK



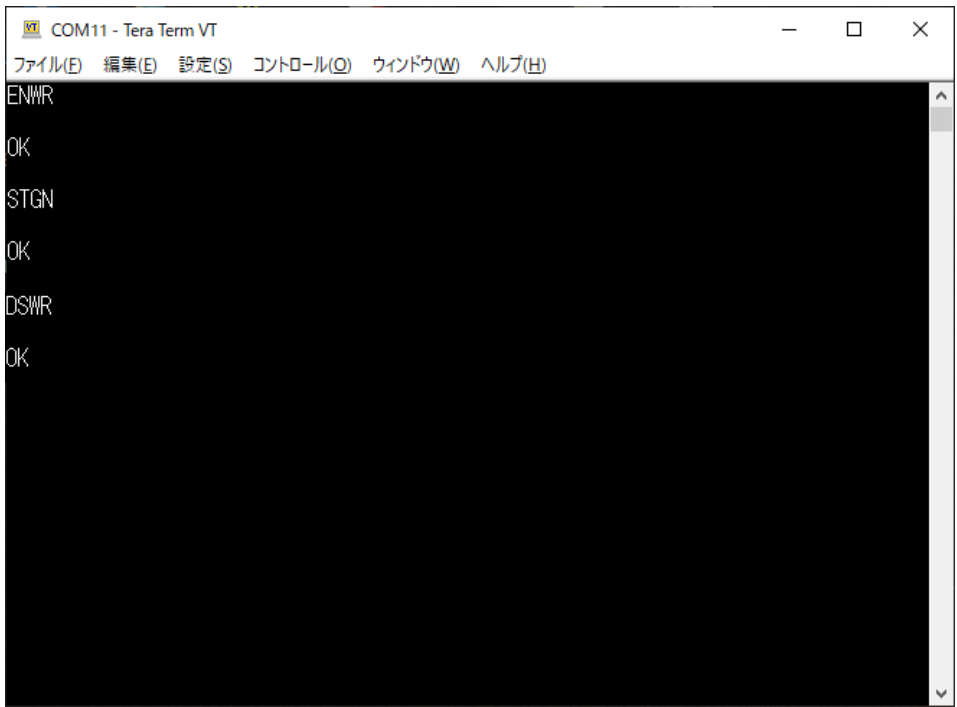
子機 2 台目 (COM10) のターミナルソフトで以下のコマンドを打ちます。

コマンド入力 (パラメータ書き換え許可)	ENWR
レスポンス	OK
コマンド入力 (グループ開始)	STGN
レスポンス	OK
レスポンス (少し時間経過)	GRNOREGD
コマンド入力 (パラメータ書き換え禁止)	DSWR
レスポンス	OK



親機 (COM11) のターミナルソフトで以下のコマンドを打ちます。

コマンド入力 (パラメータ書き換え禁止)	DSWR
レスポンス	OK



子機 2 台目の電源スイッチを押し上げて電源を切ります。
USB ケーブルを外し、DIP スイッチを全て押し上げておきます。
これで子機 2 台目もグループ化されました。

3.親機と子機 2 台を動作させる

これまでの状態で、以下の設定になっています。

また親機の COM 番号は既に、周知で、かつ AdxConf.exe に設定されている状態です。

親機のノード ID=1

子機のノード ID=2、ID3

親機および子機の動作モード=中距離

親機および子機のチャンネル=31

子機 2 台それぞれの背面に付属の AC アダプターを接続してください。

AC アダプターを 100V-AC の電源に接続してください。



子機 2 台のそれぞれ電源スイッチを押し下げて ON にしてください。

緑色のランプが点灯します。時折、黄色のランプが点滅します。



親機の USB ポートと、PC の USB ポートを、付属の USB ケーブルで接続してください。



AdxHost.exe を実行します。自動的に、データ収集を開始します。

NODEID=03 の行が、追加された子機のデータです。



“AdxHost.exe のあるフォルダ¥LogFile¥yyyy_mm_dd”に、“IDcc_hh_MM_ss.csv”という名称の計測ファイルが生成されます。yyyy は西暦、mm は月、dd は日、cc は子機の NODEID 番号、hh は時、MM は分、ss は秒です。日時はファイル生成の瞬間を示します。

終了するには、ソフトウェアの EXIT ボタンで、ソフトウェアを終了させ、その後、子機の電源を切る→親機の USB を抜きます。これらの終了手順は、特に順不同でも問題はありません。